



関東三大七夕祭り

狭山市入間川七夕まつり

狭山市民の願いが集まる伝統の七夕まつり

8月第1土曜日・日曜日に行われる「狭山市入間川七夕まつり」。その歴史は古く、始まりとされる江戸時代中期には笹や竹に短冊をつるしたものを家々の軒先に飾り、五穀豊穡や無病息災を願ったといわれています。里芋の葉にたまった露で墨をすって短冊に願いごとを書き、竹につるすと字が上手になり願いごとがかなうといわれていました。

特徴は、狭山市独自の「矢来飾り」。通りの両側に柱を立て、その間に通した柱からつり下げるもので、昭和30年代後半ごろから始まりました。その他にも、狭山市駅西口市民広場には市内の小・中学生が書いた短冊が1万枚以上飾られます。



願いがかないますように...



年に一度の大イベント



インタビュー

幼い頃から見えてきた七夕まつりを
次の世代に継承していきたいです

実行委員として七夕まつりの企画や運営に関わっており、毎年みんなで祭りを作り上げています。私自身も、子どもと一緒にその年流行したものをテーマに飾りを作っています。まつりの翌日から次の年の飾りを作り始める方もいて、地域の人たちの熱意をいつも感じますね。当日には矢来飾りや踊り、夜のライトアップなどを楽しんでもらえたらうれしいです。これからも伝統を守りながら、時代に合わせて新しい取り組みを加えていき、祭りを継続していきたいです。

好き♡が生まれるポイント
作り手の
思いがこもった「矢来飾り」に
注目してください！



七夕まつり実行委員 小林洋介さん



まつり広場のステージ

太鼓演奏やキッズダンスが観客を沸かせます



毎年きてるよ!



屋台

狭山市駅西口市民広場や七夕通りには、びっしりと屋台が並んで大にぎわい!



もっと知りたい!

狭山市公式イメージキャラクター

七夕の妖精 おりぴい

デザインの原案は西武学園文理高校に通う生徒が考えました

【プロフィール】

身長: 15センチ

性格: しっかりものだけど、おっちょこちょい

職業: 七夕の願いを届ける織姫様のつかい

趣味: リズムに合わせて踊ること

チャームポイント: 耳の短冊と虹色の吹き流しのマント

